

## 「ふらの森の教室だより」を発行しました。 森林学習プログラム

投稿者：：

Posted on : 2024-2-14 13:40:00

森林学習の活動を紹介する「ふらの森の教室だより」を発行しました。このページから閲覧するほか、当館や図書館等の施設でも配布しています。

No. 26



## 【令和4年度の森林学習プログラム】

今年度は予定していた9校全ての学校で森林学習を実施することができました。小学校の森林学習は、「オリエンテーリング」を取り入れた森林散策を神社山と鳩島公園で行い、樹海学校7・8年生は、神社山で採取した樹木の葉っぱを干葉出し、森の香りを抽出する活動に初めて挑戦してみました。

6月から始まった鳩恋公園での森林学習は、鹿山小学校、富良野小学校、東小学校と、夏休み明けに郷小学校、鳩恋小学校、布部小学校で行いました。昨年は公園全体を誰もなく教習しましたが、限られた時間内ではどうしても急ぎ足になってしまい、ゆっくり観察ができないというサポートからの意見を反映させ、今年は沿道側をめぐるグループと沿岸をめぐるグループに別れて活動しました。

各学校とは、まとめて活動をどのような形で行なう事前に打合せていますが、今年は散策中に見つけたものを図鑑風式でまとめた「図鑑作り」と、見つけたもののどこで見つけたかを地図上にまとめた「マップ作り」の2つから選択してもらいました。子どもたちが散策中に見にいったものを写真に撮ったり、採取したりしたもの

を。事後学園の日に学校で調べてまとめるときも、さあ、次は私の順番だよ  
といううちはどちらの活動も一緒です。子どもたちはまとめの活動を想像しながら、たと  
くさんのタネや葉っぱなどを集め、写真に撮っていきました。

公園の散策記録では、サボーターを考えた「授業」ががらんと準備されており、散策

の間に子どもたちは楽しく挑戦していました。1.5メートルのビンボールがどこまで跳けるかを当てる問題では、実際にそれを体験して、子どもと一緒に先生たちも驚いて目を白黒させていたのが印象的でした。

神社山での森林学習は、樹海学校3.4年生、山部小学校、樹海学校7.8年生で行いました。樹海学校の7.8年生は森の香りを抽出する「フレグランス作り」を、樹海学校3.4年生と山部小学校は、オリエンテーリングを取り入れた森林学習でした。樹海学校3.4年生は夏と秋の2回実習がすっかり定着



◎ 人物·组织·事件·社会·文化

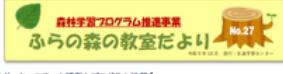


ここまで来ることができました。先生方

からもアイデアをいだくことが増えて、サポーターとともに森林学習と一緒に学んでいる実感を深めます。これからもこの事業を通して、富庶野で育つ子たちに心を育むことが、故郷に大きな根が張っている森林を感じてもらえるよう、引き続いだり、研磨していきたいと思います。



No.27



◆本年度の森林実習プログラムは、サボーラー

歓迎を上まわっていました。一方、男子用洋着には木の葉模様や人の模様についての説明があり、その説明も読み入りました。その後のテーマ活動は、サーターの尼戒や忍辱経を読みますと書く「スクリブルアーフーム」。活動の最後はサーターがおもむろに立ち去り、隠れてしまふところとSNS上に投稿する「忍辱僧」と、神社に隠れし監禁メモの書き方、「生懲り顔面書アーム」が入り、同時にSNSに活動を載せてもらいました。今後も読み込みながらトドメを積んでいく予定です。実習の最後はボーリング場で締めくくったあと、懇親会でボーリングに挑戦していくなど楽しかったです。

【令和5年度の森林学習プログラム】

鳥忍公園での森林学習は、鶴山小学校3年生、富野野の学校4年生、学校3年生の3校で体験し、樹海学校3.4年生、並木学校5年生、山川小学校3.4年生、樹海学校7.8年生の4校が待機で森林学習を行いました。今年も樹海学習の3.4年生は置きと2回目です。神津山の樹齢の変化を比較できる木札の読み方を学びました。

A group of students in a classroom setting, focused on their work at their desks. One student in the foreground is looking down at their paper, while others are visible in the background.

スタイルが見えていました。

多くの学年で、導入されたタブレットを活用しての学習活動が主流となりつつあります。タブレットによる読み込み、基礎をしたがりながら操作的学習をすることができます。また、その操作的学習が豊かな背景となることによって、これまでの学習の範囲を大きく超えて、より豊かな学習が可能となっています。

今年度は、タブレットによる読み込み、それまでの学習のつながりを理解するための歴史的背景知識との複数の組合せで、子どもたちに読み物の読み方などのサクセスフルな読み方を、常に読みこなす力やコミュニケーション力の育成ながら学びつつ、タブレットの読み方なども併せて学んでいます。本年度も読み込みをしながら、これまでの読み込みを読みこなしていく力も大切だと思います。小さな絵本を読みながら、どちらに読みこなしていくかだと思います。小さな絵本を読みながら、どちらに読みこなしていくかだと思います。読みこなすことをこれまでの読みの種類を理解してから読みこなしていく力も大切だと思います。

授業実習2年生の場合は、2年生に2年生で授業を行なったときに実習を行なった

相模原市7、8年生のプログラミングは2年ぶりに、皆で入る学生と一緒にやりました。中学生になると、学年の高さの差が現れる傾向が強くなりましたが、プログラミングも高め。実際に子たちと一緒に作る楽しさを、子どもたちの頃から触れるような内容で今までいたので、実験の楽しさが伝わる送信となりました。

来年は理研創成の学校で5校、6年生が訪ねる予定です。サポーターとして毎年アラブペーパーでお話し、学生と一緒に子たちの絆を強めています。



バックナンバーの紹介ページは[コチラ](#)